

長野県とサッポロビール（株）

「生物多様性保全パートナーシップ協定」締結

サッポロビール（株）は、長野県が2050年の中期目標「生物多様性ながの県戦略」を掲げ、県鳥であり絶滅が危惧されている「ライチョウ」の保護回復事業計画を県民ぐるみで取り組んでいる活動に共感し、協働してライチョウの保護に向けた普及啓発と体制構築を目的とした「生物多様性保全パートナーシップ協定」を2017年5月31日に締結しました。

当社は、事業活動を通じ、これからも長野県と共に地域社会・自然環境への貢献に取り組んでまいります。

記

1. 連携協定の目的

絶滅が危惧されるライチョウの保護対策をより一層推進するため、サッポロビール（株）及び長野県は、「生物多様性保全パートナーシップ協定」を締結し、ライチョウ保護に向けた普及啓発と体制構築に連携・協力して取り組むこととする。

2. 連携事項

- （1）県民ぐるみのライチョウ保護体制構築に向けた普及啓発活動を実施する。
- （2）サッポロビール（株）は、ライチョウ保護対策等に必要となる経費の一部を負担する。
- （3）長野県は、保護対策が円滑に進むよう取り組むとともに、協定の取組事項に関する広報活動を実施する。（ホームページ、広報誌等）

3. ライチョウ保護対策の推進

協定締結者は本協定に定めのある事項以外で生物多様性保全に資する活動を行おうとする場合においても、可能な範囲で連携・協力して取組を実施するものとする。

4. 協定期間

協定期間は締結の日から3年間とする。



【参考】

「生物多様性保全パートナーシップ協定」について

信州の自然環境の現状

約10年ぶりに改訂した県版レッドリストでは、絶滅のおそれのある種が259種追加。

植物：66種追加、動物：193種追加

生息環境の厳しい現状が明らか



生物多様性の保全を、社会全体で支える仕組みを構築

